

授業科目

ロービジョン医学演習

担当教員名 菊入 昭、正条 智広 (非)、岸 哲志 (非)、林 弘美 (非)、長尾 長彦 (非)、 河内 了輔 他	対象学年	3	対象学科	視機
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	60

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	○	◎

授業の概要

「ロービジョン」とは視覚障害により入手する視覚情報の不足から、人としての生活活動に支障や困難をもたらす視機能の状態にあることを一般に言う。ここでは視覚障害総合リハビリテーションの総論から眼科医療領域の役割を明示して、リハビリテーションスタッフとして視能訓練士の役割を担うために、視覚障害や疫学、社会学的観点から捉えた視機能低下の問題点、医療福祉（障害者リハビリテーション）そして感覚代行を目的とするリハ技能（眼科医療領域内で対応するもの）を取り上げ実践に即した内容について学習する。

授業の目的

障害者のリハビリテーションとはその欧米史において「医療」と「福祉」事業の一体化にあった。その歴史が培った理念に基づき視覚障害あるいは加齢による視機能低下者に対して視能及び眼光学を駆使し、更に感覚代行の知識、技能を加えて、対象者の個別性に留意した生活活動の自立を支援するための訓練指導法を修得する。

学習目標

1. 視機能の状況と生活活動の支障・困難に対する相対評価ができる。
2. 相対評価に基づくリハビリテーション計画の作成ができる。
3. 主に視能及び眼光学を駆使したロービジョンサービスの付与と、社会適応に向けたリハビリテーション機関方向付けのための知識、技能が理解できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	視覚障害受障とリハビリテーションを考える 視覚障害受障がもたらす人間模様と障害者リハビリテーションを考察する。	講義、演習	菊入 昭
2	視覚障害の定義 視覚障害の概念を福祉、教育の観点及び国際障害分類から意味づけを理解する。	講義、演習	菊入 昭
3	視覚障害及び原因疾患などの状況（疫学） 視覚障害原因眼疾患の発生分布や視覚障害進行の状態など、調査結果を元に視機能低下の状況を考察する。	講義、演習	菊入 昭
4	I C F 国際生活機能分類に基づく視覚障害の切り口 領域外専門職と連携ある処遇にするために、専門職において視覚障害に対する共通認識が重要になる。国際的な「I C F 国際生活機能分類」に基づいた視覚障害の切り口を学習する。	講義、演習	菊入 昭
5	ロービジョン医学演習に向けて 学習の観点について、ロービジョンというサービスの現状や概要、そしてリハビリテーションと位置づけ学習する根拠について理解する。	講義、演習	菊入 昭
6	障害者のリハビリテーションを考える 語源や言葉の変遷と名称の発生、そして障害者リハビリテーション発展の経緯、リハビリテーションと人権、リハビリテーションの領域と定義などを学習する。	講義、演習	菊入 昭
7	視覚障害者の総合リハビリテーション 視機能の低下あるいは失明者に対して「再び元の状態に戻す (to make fit again) (上田敏)」総合リハビリテーションについて、眼科医療におけるリハインストラクターとして活躍するための知識を学ぶ。そして業務では地域、遠隔にある機関と有機的連携の元にリハを進められる異職種とのチームアプローチをするための「知識の共有」を目的に学習する。	講義、演習	菊入 昭
8	生活活動の支障・困難とリハの実際 リハビリテーションの実際について、一般的な意味でのシミュレーションを交え生活活動の支障や困難を示し、その軽減のための訓練・指導の基本について学ぶ。	講義、演習	菊入 昭
9~12	シミュレーション体験から視覚障害について考える シミュレーションゴーグルをかけ、障害 (disability) がもたらす歩行 (屋内	演習	菊入 昭、正条 智広、岸 哲

	外の単独移動)やコミュニケーション、日常生活基本動作をとる支障、困難を通して視覚障害について考える。		志、河内 了輔 他
13~14	コミュニケーションの方法を学ぶ [1] 点字及び非光学的補助具 (iPad・タイプスコープ) の利用方法を習得する。	演習	菊入 昭、正条 智広、岸 哲 志、河内 了輔 他
15	眼科医療において視能訓練士が携わるロービジョンの実際 眼科医療機関において実施されているロービジョンサービスについて、臨床の一例として報告する。	講義、演習	正条 智広
16	拡大と光学的補助具について (分類) 拡大法及び光学的補助具の分類について解説する。	講義、演習	菊入 昭
17~21	コミュニケーションの方法を学ぶ [2] 近視視補助具 (拡大鏡・単眼鏡)、遠方視 (単眼鏡・プリズム)、遮光レンズ等の光学的補助具の基礎知識、実物把握、拡大法と光学補助具倍率の推定などの専門知識を交えて利用法を学習する。	演習	菊入 昭、林 弘美、長尾 長 彦
22~26	歩行及び日常生活の技能 (基礎編) 生活活動の支障・困難に対するリハの実際基礎編は、医療領域において必須の知識、技能と判断されるものを取り上げる。	演習	菊入 昭、正条 智広、岸 哲 志、河内 了輔 他
27	訓練指導の初期評価 訓練指導のプログラム作成に向けた情報収集として社会評価を行う。その内容などについて学習する。	講義、演習	菊入 昭
28	視覚障害受障と心理不安 視覚障害受障により一般に情緒的精神的不安が出現する。その状況についてトーマスカロル「20の喪失」を交え考察する。	講義、演習	菊入 昭
29	視覚障害者の職業訓練 訓練指導の一つの目標設定に必要な情報として視覚障害者の職業訓練、就労について状況を学習する。	講義、演習	菊入 昭
30	講座のまとめ 講座のまとめとして視能訓練士の分野における福祉・ロービジョン領域事項を取り上げ学習する。	講義、演習	菊入 昭

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	ロービジョンの総合的リハビリテーション	田淵昭雄、菊入昭	自由企画・出版	2010年	5,616円	
その他の資料	必要に応じて資料を配布する。					

評価方法

定期試験 70%

提出物 30%

履修上の留意点

再試験、追試験は必要があれば原則1回のみ実施する。

締め切りを過ぎた提出物は原則として受け取らない。

オフィスアワー・連絡先

毎週水曜日の昼休み

P201

shikinou@nuhw.ac.jp